

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2022年
9月号
Vol.69 No.808

巻頭言

副会長挨拶 関 真一

会 告

2022年度城東支部研修会

お知らせ

2022年度第4地区研修会（交流会）

報 告

瑞宝双光章

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第6回 注腸X線検査の撮影～内視鏡検査が困難となった症例、
複雑な腸管走行（長い腸管走行）の注腸X線検査～ 安藤健一

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2022
SEP

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 副会長挨拶	副会長 関 真一 3
会告1 2022年度城東支部研修会	城東支部委員会 4
会告2 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について	渉外委員会 5
お知らせ1 2022年度第4地区研修会(交流会)	第4地区委員会 6
お知らせ2 2022年度第1回第13地区研修会	第13地区委員会 7
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 8
報告 瑞宝双光章	9
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第6回 注腸X線検査の撮影～内視鏡検査が困難となった症例、 複雑な腸管走行(長い腸管走行)の注腸X線検査～	安藤健一 11
こ え	
・「第135回日暮里塾ワンコインセミナー(新入会促進セミナー)」を受講して	高野 峻 24
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2022 No.6)	25
2022年度第3回理事会報告	26
2022年度第4回理事会報告	28
2022年度第5回理事会報告	29
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	32
・求人情報	33

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



副会長挨拶

副会長 関 真一

平素は本会に多大なるご協力ご支援をいただき厚く感謝申し上げます。また、近年の新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、日々懸命に診療している皆さまに心より感謝申し上げます。さらに、会員の皆さまには毎年の会費納入につきまして、ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて私は、6月18日に開催された第73回定期総会で理事に選出いただき、第4回理事会において、副会長、業務執行理事、経理委員長を拝命致しました、立正佼成会附属佼成病院の関 真一でございます。会員各位、役員、委員の皆さまの一層のご協力を支えに会務を遂行してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

経歴を申しますと、1992年より第10地区委員、地区委員長、経理委員長と約30年にわたり本会の運営に携わってきました、その経験を生かして円滑な会務運営を目指してまいります。また、麻生新会長の運営方針に沿って、伝統と重要な資産を踏襲しつつ、地区会員の意見を聞きながら、現在の社会情勢や令和時代のニーズに合わせた方策と改善を念頭に新たな構築を実現していきます。少し時間が経って、職責の重さを痛感しておりますが、非常にやりがいを感じております。会長をサポートして本会の活性化のため精一杯努める所存ですので、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

本会は「公益社団法人」であります、これについて考えてみたいと思います。公益社団法人とは、「公益」の文字通り、「公益事業を主な目的とし活動している法人」です。公益とは「不特定かつ多数の者の利益」を表します。つまり自法人の利益追求だけでなく、私たちの社会にさまざまな好影響を与える事業を行うのが公益社団法人です。公益社団法人を設立した場合、税制上の優遇措置や社会的信頼の面で多くの恩恵を受けられます。しかし誰でも「公益社団法人」を名乗れるわけではありません。まず一般社団法人を設立し、その上で内閣総理大臣または都道府県知事から認定を受けて初めて公益社団法人になれるのです。認定後は「移行の登記」を行い、実際に登記します。公益社団法人や一般社団法人に付いている「社団法人」とは、目的を持つ団体が法人格を取得した場合に名乗る組織名です。いわゆる「非営利団体」にあたり、得た利益は事業の活動や継続、蓄えにのみ使用できます。株式会社と違って利益の余剰金を、「理事や従業員などの構成員」に分配できません。公益社団法人設立の条件である公益認定の申請先は、内閣総理大臣（公益認定等委員会）もしくは都道府県（合議制の機関）の2つです。

公益認定を受けられる主な条件は、公益目的事業を行うことが主たる目的になっているか、公益目的事業の収入が、その実施に必要な適正費用を超えていないか、公益目的事業の比率が50/100以上の見込みか、遊休財産の額が一定以上にならないか、同一親族等が理事または監事の1/3以下であるか、などであります。

公的な事業とは具体的には、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」で定められている23事業に当てはまるものを指します。教育や福祉、職人芸、慈善活動に関わる事業が主で、実際に法律で規定されています。

しかし、一昨年から今般の世情に鑑みて、本会における公益事業の開催は非常に厳しい状況が続いております。今後は工夫してなんとか継続できるように考えたいと思っております。また財政状況に関しても、当初の予算遂行が実現不可能な事態となり厳しい財政運営を迫られるなか、最大限効果的に生かしていきけるようにしっかりと勉強して務めていきたいと思っております。また、近年では会費の使い方に対する会員の目は一層厳しくなっていますが、厳しい財政運営を迫られるなか、無駄を最大限省いて組織運営、活動を行っていく所存です。任期の最後までしっかりと精進して責務を果たして努めていきたいと思っておりますので、会員の皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

2022年度 城東支部研修会 テーマ「診療放射線技師の転職活動について」

講師：株式会社エス・エム・エス 藤野 昌聡 氏

本年度の城東支部研修会は、診療放射線技師の転職活動について取り上げてみました。実際に診療放射線技師の人材バンクを運営する会社の担当者に講師としてお願いしました。医療職種における転職市場、診療放射線技師の転職市場における現状を取り上げていただけるとのことです。また面接時に心がけること、対策についてお話しいただけることになっております。

これから就職する学生の方から退職後の仕事探しまで、診療放射線技師の参考になることがあればと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年9月30日（金）19時00分～20時30分

会 場：Web上にてZoomを使用

受 講 料：無 料

定 員：50名（定員になり次第、終了させていただきます）

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2022年9月26日（月）

問い合わせ：城東支部 E-Mail：shibu_jyoutou@tart.jp

第1地区委員長 増田祥代（城東支部委員長）

第2地区委員長 島田 諭

第7地区委員長 富丸佳一

第14地区委員長 宮谷勝巳

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。

本年度の資格到達者は本会で調査致しますが、調査漏れなどにより2022年9月16日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが2022年9月30日までに下記問い合わせ先までご連絡いただければ幸甚に存じます。

規程内容分旨

【永年勤続表彰30年】

1. 2023年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が1993年3月31日以前の方）
2. 2009年3月31日（2008年度）以前までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）

【永年勤続表彰50年】

1. 永年勤続表彰30年を受けたのち継続して日本診療放射線技師会に在籍し、診療放射線技師又は診療エックス線技師免許取得後50年を経過した者（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が1973年3月31日以前の方）

留意事項

1. 推薦の時点で2022年度の会費を完納していること
2. 永年勤続表彰30年は日本診療放射線技師会指定の履歴書「様式第5号」の提出が必要
（勤続年数の審査は、提出書類に基づき行われます。書類に記載されていない勤務歴情報は勤務年数としてカウントされません。）

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail：shougai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 1

2022年度 第4地区研修会（交流会）

テーマ「若手交流 with 告示研修」

これまで第4地区においては、地区内（渋谷区、港区）の医療機関に所属する若手診療放射線技師による交流会を開催してまいりましたが、昨今のコロナ禍においてこの数年は開催を延期してまいりました。この度、Webにて再開する運びと致しましたのでお知らせを致します。

この企画は、同じ医療圏に所属する者同士で施設間の交流を通して、互いに刺激し合い診療業務に対するモチベーションや放射線技術の向上につなげることが目的です。

さらに始まったばかりの診療放射線技師法改正に伴う「告示研修」について、公益社団法人日本診療放射線技師会 教育委員である東京臨海病院の野口幸作氏を講師にお迎えし、情報提供のご講演をいただくことになりました。

今後の診療業務の中心を担う若手診療放射線技師に必要な情報を共有します。

～ プログラム ～

- 18:30 開会挨拶
東京都診療放射線技師会の紹介
- 18:40 第4地区紹介
- 18:45 第4地区参加施設の紹介
- 19:30 特別講演「診療放射線技師法改正に伴う告示研修の概要」
講師：（公社）日本診療放射線技師会 教育委員 野口 幸作（東放技副会長）
- 19:50 交流ディスカッション
- 20:00 閉会挨拶

オンラインは、Microsoft Teamsの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Microsoft Teams最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年10月5日（水）18時30分～20時00分

開催方式：Web開催（Microsoft Teams）

定 員：なし

受講料：無 料

申込方法：視聴希望者は問い合わせ先メールにご連絡ください。

申込締切日：2022年9月30日（金）

問い合わせ：第4地区委員長 上田万珠代 E-Mail：area04@tart.jp

以上

2022年度 第1回 第13地区研修会

テーマ「診療放射線技師が関わるタスク・シフト/シェア」

2022年度の第13地区研修会はWeb開催と致します。

2021年より「厚生労働省告示第273号研修（告示研修）」が始まり、もうすぐ1年が経ちます。既に修了された方もいると思いますが、改めて臨床の現場から業務拡大のポイントとこれからの対応をお話しいたします。

2つ目は、診療放射線技師が関わる超音波検査について、超音波検査士の資格を持つ技師を講師に招き、認定資格からわれわれが超音波検査に携わるメリットや必要性をお話しいたします。

超音波検査は医師以外にも、相応の経験や知識を有した看護師、准看護師、臨床検査技師、そして診療放射線技師であれば検査を行うことができます。

告示研修においても、静脈路を確保する行為の中に「超音波造影検査手技」が含まれております。また、JART認定資格である「災害支援診療放射線技師」においても、「下肢静脈超音波検査実技」が含まれているなど、超音波検査はわれわれの近くにある業務となっています。

タスク・シフト/シェアをメインテーマに研修会を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

～ 内 容 ～

①「診療放射線技師業務拡大のポイントとこれからの対応」

講師：東京医科大学八王子医療センター 藤村 耕平 氏

②「診療放射線技師が関わる超音波検査」

講師：東京医科大学八王子医療センター（超音波検査士） 新田 忠弘 氏

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年10月12日（水）19時00分～20時30分

会 場 名：Web上にて（Zoomを使用します）

定 員：50名

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2022年10月7日（金）

問い合わせ：第13地区委員長 鮎川幸司 E-Mail：area13@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 3

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。

公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介 PDF
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介 PDF
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介 PDF

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

叙勲 瑞宝双光章 受章



社会医療法人社団森山医会 森山脳神経センター病院

た が わ ま さ と
田川 雅人

昭和31年1月25日生（66歳）

学歴等

昭和58年 3月31日 城西放射線技術専門学校 卒業

職歴等

昭和57年 5月 1日 森山病院（補助職員） 勤務
昭和58年11月23日 同 退職
昭和58年11月24日 森山病院 勤務
昭和60年 5月 1日 同 診療放射線技師長 就任
平成14年12月 1日 医療法人社団森山医会 森山リハビリテーション病院
（森山病院から改称） 診療放射線技師長 就任
平成16年 4月 1日 医療法人社団森山医会 森山記念病院
（現 社会医療法人社団森山医会 森山記念病院）
事務長 就任（技師長兼務）
平成28年 8月 1日 社会医療法人社団森山医会 東京脳神経センター病院
（現 社会医療法人社団森山医会 森山脳神経センター病院）
異動 事務長 就任
現在に至る

団体歴

平成13年 4月 1日～平成24年 5月26日 社団法人東京都放射線技師会 理事
平成24年 5月26日～平成26年 6月22日 公益社団法人東京都診療放射線技師会 理事

賞罰関係歴

平成17年11月11日 東京消防庁葛西消防署長表彰（防火管理功労）
平成18年 9月 5日 東京消防庁救急部長表彰（救急功労）
令和元年10月 1日 東京都功労者表彰（労働精励）
令和 2年11月 9日 東京消防庁予防部長表彰（防火管理功労）

瑞宝双光章を受けて

田川雅人

令和4年4月29日付けで発令されました令和4年春の叙勲において瑞宝双光章が授与され、同年5月19日都庁において小池百合子東京都知事より勲章の伝達を受けました。

これは、東京都診療放射線技師会の推薦により頂けたものであります。篠原会長はじめ、理事の皆さまには心より感謝申し上げます。

瑞宝章は、公務などに長年にわたり従事し、成績を挙げた者に授与される勲章であります。私は瑞宝双光章（保健衛生功労）となっています。

診療放射線技師となった当時、江戸川区南部に位置する新規開設した森山病院へ入職、救急医療と地域に根ざす医療を理念とした森山理事長先生の下、自分も救急医療への関心が強かったこともありますが、年がら年中、救急要請に振り回されていたことを思い出します。

同じ施設に従事して40年になりました。ただ、コツコツと業務を熟す日々であり、どんな成績を挙げたかと言われれば、なんとも自覚がありません。推薦のお話を受けた当初、本当にこのような勲章を頂いて良いものか自問自答していました。結果、診療放射線技師が世間へ周知されることとして捉えて推薦を受けすることにしました。推薦を受けた個人名での授章ではありますが、診療放射線技師としての授章であり、診療放射線技師職の地位向上の布石となればこの上ない喜びと考えています。

これからも東京都診療放射線技師会の益々の発展と、診療放射線技師職発展ならびに地位向上を心より祈念申し上げます。

田川雅人様の叙勲の祝辞

推薦時会長 篠原健一

この度の令和4年度春の叙勲におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された田川雅人様が瑞宝双光章を受章されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてまことに誇りと名誉ある受章であり慶びに堪えません。

田川様は昭和58（1983）年より、診療放射線技師として38年余りの永きにわたりこの道一筋に奉職されました。

昭和57（1982）年に森山病院（現 社会医療法人社団森山医会）に奉職以来、技師長、事務長（兼務）を歴任され、診療放射線技師としての医療技術向上のみならず、救急医療からリハビリテーション・介護にわたる相互連携に貢献されました。

本会では、平成13（2001）年～平成25（2013）年まで7期13年、第7地区理事（委員長）を務められ、会の運営、発展および地域医療の向上に寄与した功績はきわめて大きいものがあります。

この度の田川様の受章は、診療放射線従事者としての国民医療・地域医療・資格教育に対する功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、田川様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

注腸X線検査の撮影 ～内視鏡検査が困難となった症例、複雑な 腸管走行(長い腸管走行)の注腸X線検査～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

新シリーズとして『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。どうぞよろしくお願い致します。

おさらい

前々回は、注腸X線検査の撮影について、総論としての基本的な考え方とバリウムの移動法、そして各論として直腸・S状結腸・下行結腸の左側(肛門側)大腸の部位別撮影法について述べさせていただきました。そして前回は、横行結腸・上行結腸・盲腸の右側(口側)大腸の部位別撮影法について述べさせていただきました。

注腸X線検査の基本的な考え方として、精度の高い注腸X線検査に求められるポイントで一番重要なのは、『二重造影で大腸の全領域を盲点なく撮影する』ことです。それらを達成するには、バリウムを自在に操る・移動させる技術が必須となります。しかしながら、これらの技術の習得は容易ではありません。なぜならば、大腸の長さ・走行は個人差が非常に大きく一様ではないからです。バリウム移動法については、状況に応じて臨機応変に対応する必要がありますが、基本的な考え方・方法理論をしっかり理解して効率よく行う

必要があります。

大腸の腸管は、上下(頭尾)・前後(背腹)・左右方向の3軸に走行しており、それらは個々人により大きく異なることがあります。ですから定型的な型通りの方法・手順では、効率的で自在なバリウム移動はできません。まずはX線透視にて個々人の3軸の腸管走行を立体的に理解しながら、透視台の起倒・被検者の体位変換(両斜位・腹臥位・背臥位)・呼吸の調整・空気送気の後押し・腸管の圧迫等を駆使してバリウムを自在に操ることが可能となります。

はじめに

今回は、内視鏡検査が困難となった症例、いわゆる複雑な腸管走行(長い腸管走行)の注腸X線検査について取り上げさせていただきます。今回提示の症例は、【内視鏡挿入困難でS状結腸途中までのみ観察】との依頼オーダーコメントで、内視鏡検査中止後の当日に施行された注腸X線検査となります。主にバリウムの移動方法について、透視動画のキャプチャ画像を使用して解説させていただきます。

1 | 直腸・S状結腸

直腸・S状結腸は、腸管が上下(頭尾)・前後(背腹)・左右方向と立体的に複雑な走行を呈し、バ

リウム移動が困難な部位です。特にこの症例では、S状結腸のやや複雑なループと長い腸管走行にて、内視鏡が挿入困難となったと推察されます。

まずは、バリウムを注入してから、少しずつ緩徐的に空気を送気して体位変換、徐々に腸管を拡張させながら透視台の起倒と体位変換を組み合わせ、バリウムを深部結腸に進めていきます。

図1のバリウム注入直後のファーストインプレッションで通常よりS状結腸の腸管走行が複雑で長いことを認識することができます。ゆっくり空気を注入しながら、体位変換をしていきます。

図2～図7でおおまかなループ・腸管走行を理解します。図8の状態から、やや頭低位でゆっくりと仰向けにすることで、S状結腸口側付近のバリウムが下行結腸側へ移動します（図9）。

次いで、直腸に残っているバリウムの対応です。やや頭低位にて、背臥位から左回り、左側臥位→腹臥位にすることで、S状結腸側へバリウムを移動させます。今回は、直腸に残存したバリウムは吸引しました（図10～図17）。

バリウムの吸引については、患者様の状態や腸管の解剖学的走行、検査の進捗状況等を総合的に

透視画像～直腸・S状結腸～（図1～図33）



図1



図2

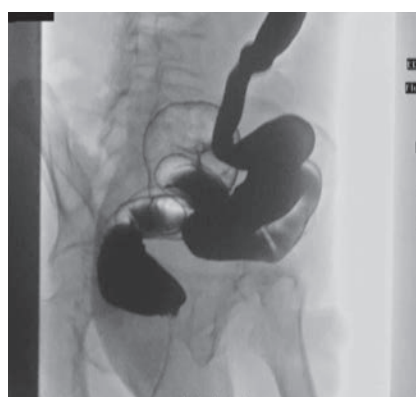


図3



図4



図5



図6

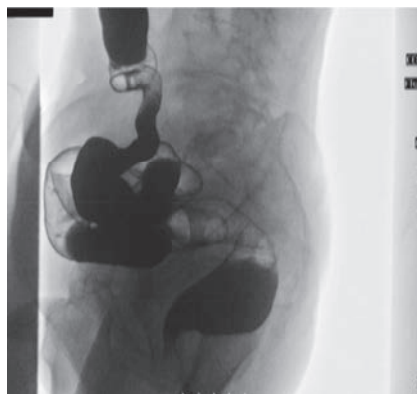


図7



図8



図9

判断し、状況に応じて臨機応変に対応します。

念のため再確認ですが、先にも述べさせていただきましたが、ここまで、バリウムを深部結腸に移動させるために透視台の起倒と体位変換を組み合わせで行ってききましたが、もう一つ大事なことは、同時に持続的かつ緩徐的に空気の送気を行い、徐々に腸管を拡張させます。体位変換だけを必死に行っている、うまくバリウムを深部結腸に移動させることはできません。何故ならば、特に検査前半の腸管（直腸・S状結腸）は、体位変換によって拡張状態が容易に変化します。検査開始か

ら、徐々に腸管を拡張させていき、腸管に対して、持続的に空気送気による適度な圧を加え続けることで、結果的に右側の深部結腸までしっかり拡張させることができます。

話を本題に戻して、次に直腸からS状結腸に送られたバリウムの移動です。このタイミングになると、腸管も拡張してきており、腸管走行・ループと残存バリウムの位置関係を理解することができます。慎重に透視観察をし、継続的に空気送気を行い、腸管拡張を維持しながら、ゆっくり体位変換をすることで、残存バリウムを深部結腸に送

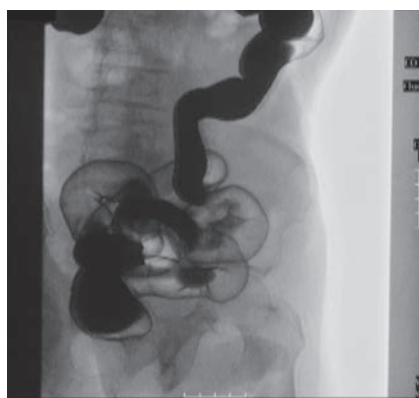


図10

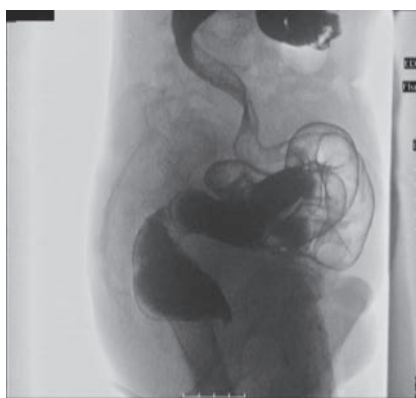


図11



図12

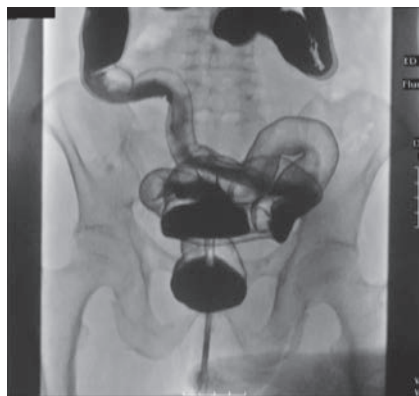


図13



図14



図15



図16

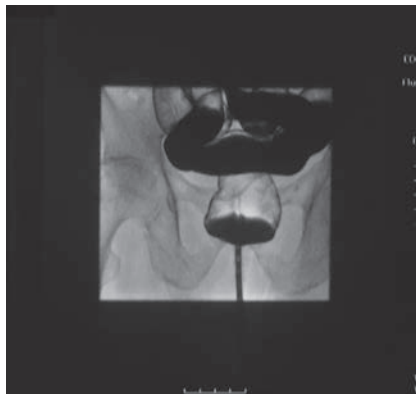


図17

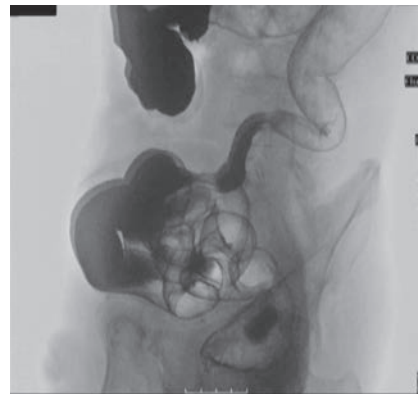


図18

り、しっかりとした二重造影にすることができ
ます。基本的にはこの状態になってから撮影するの

が理想的です。もちろん病変の有無や状況に応じ
て対応することも求められます（図18～図33）。

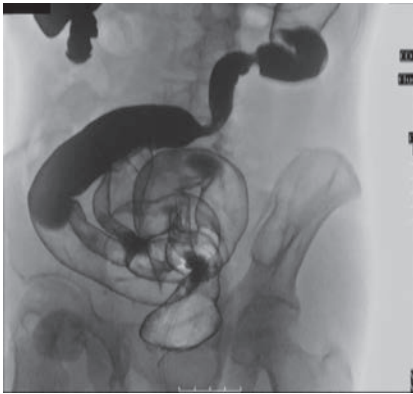


図19



図20

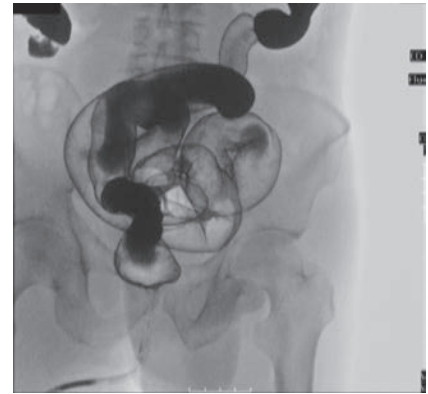


図21



図22

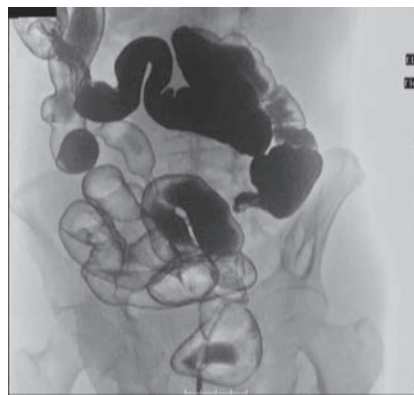


図23

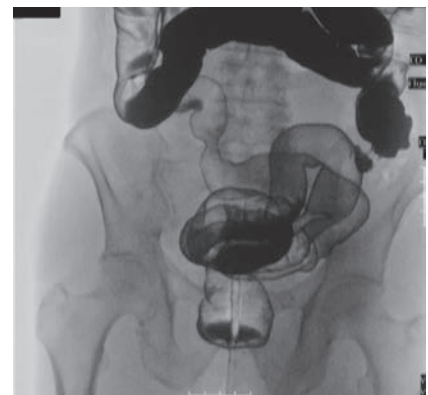


図24

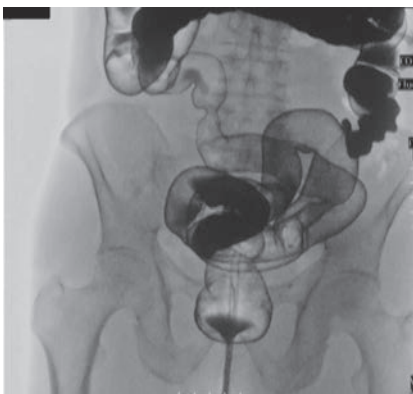


図25

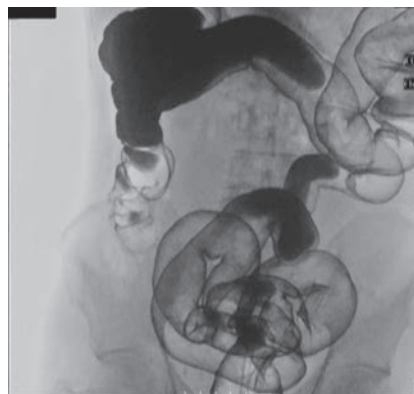


図26

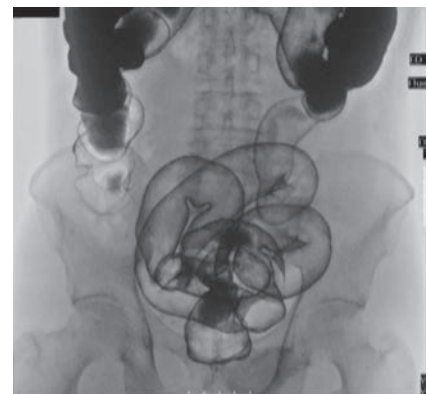


図27



図28

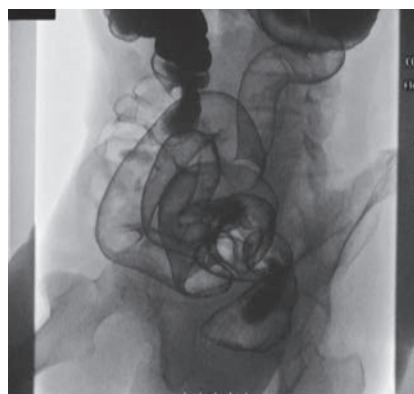


図29

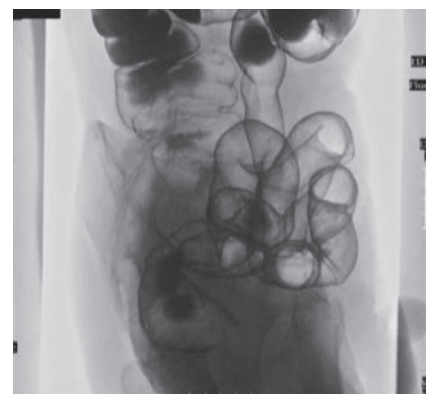


図30

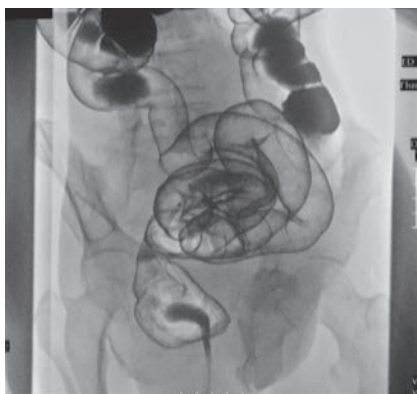


図31



図32



図33

2 | 下行結腸・横行結腸

図34で下行結腸以深のバリウム残存状況と腸管拡張を確認します。横行結腸のバリウムを上行結腸側へ移動させ、下行結腸や横行結腸を広く二重造影（撮影）とします（図34～図40）。

透視画像～下行結腸・横行結腸～（図34～図40）



図34

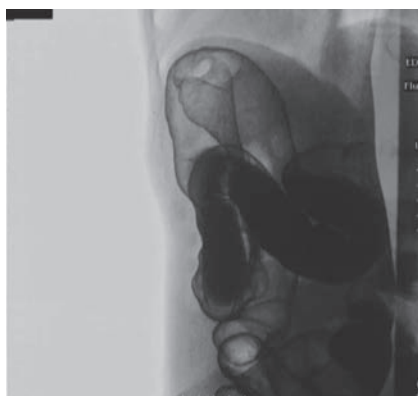


図35

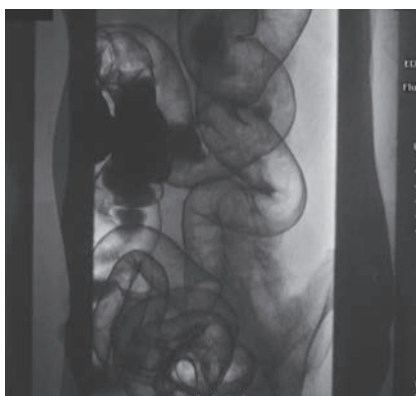


図36

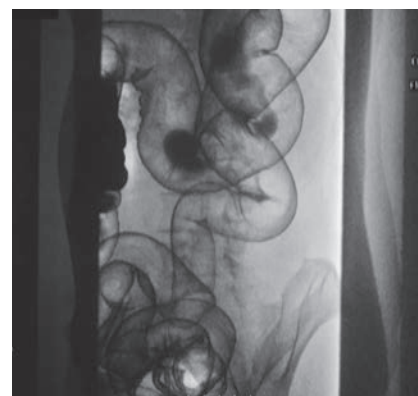


図37

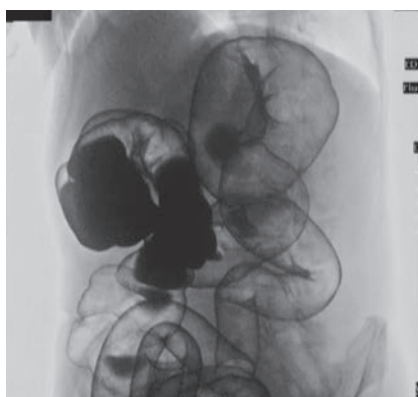


図38

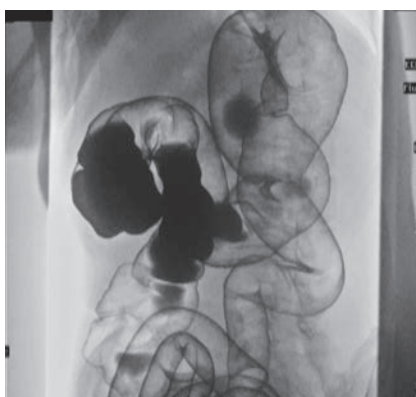


図39

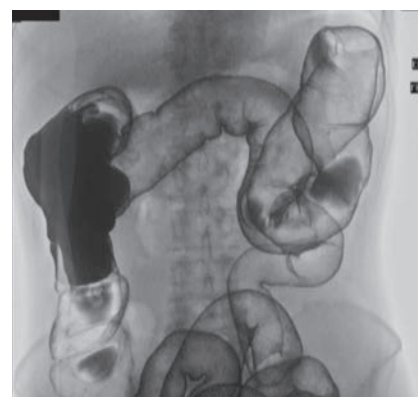


図40

3 | 盲腸

次に背臥位で透視台を頭高位とし、盲腸の盲端部までバリウムをしっかりと充満させ、付着効果を高めます。圧迫筒を使用して、回盲部付近を中心に、体位角度を変えて、圧迫二重造影（撮影）とします。ここで大事なのは、盲腸は直腸からバリ

ウム・空気を注入すると最深部となりますので、透視台の起倒を行い、しっかりバリウムを流し付着効果が高めることが重要となります。そのためには最深部である盲腸まで、腸管を十分に拡張させることが非常に重要なポイントとなります（図41～図49）。

引き続き、腹臥位で圧迫枕を使用して盲腸部周辺の圧迫二重造影です。ここでのポイントは、先

透視画像～盲腸（背臥位）～（図41～図49）

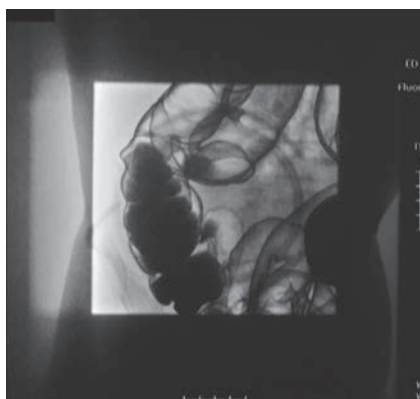


図41



図42

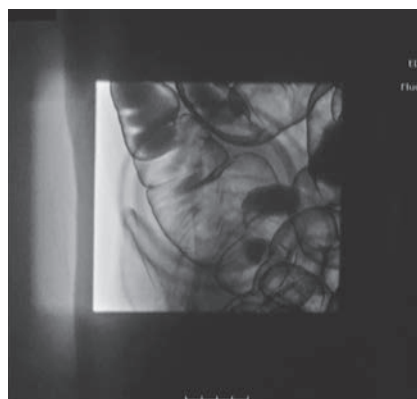


図43

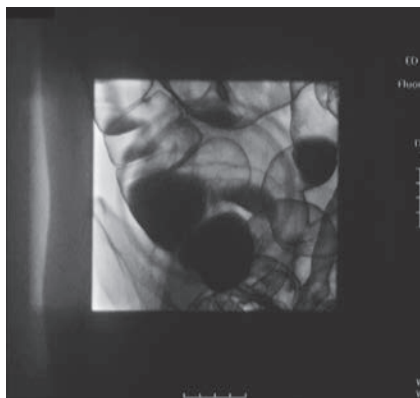


図44



図45

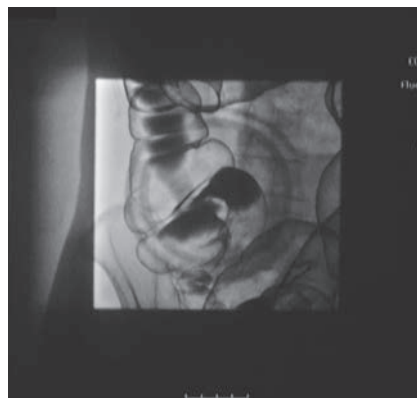


図46

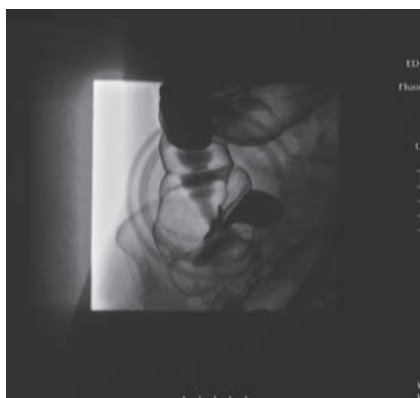


図47

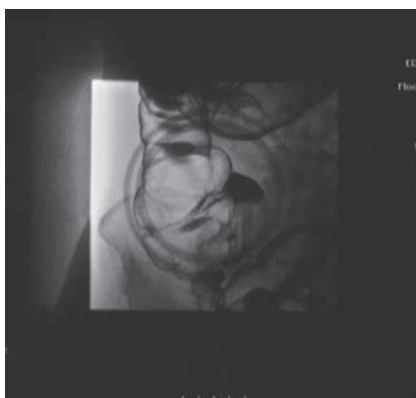


図48

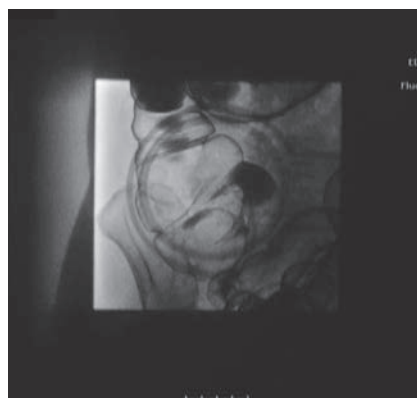


図49

ずは、ある程度バリウムを肛門側・横行結腸側に移動させた後、腹臥位にて圧迫枕を盲腸部周辺に入れて適度に腸管を平坦化させます。そして、透視台の起倒を使用して、残存バリウムを移動させ、

圧迫二重造影（撮影）とします。この際、結構な腹圧がかかりますので、必ず患者様への声掛けを行い、無理のない範囲で実施します（図50～図54）。

透視画像～盲腸（腹臥位）～（図50～図54）

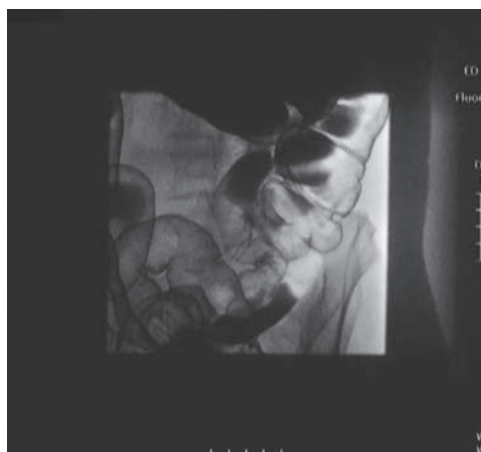


図 50



図 51



図 52

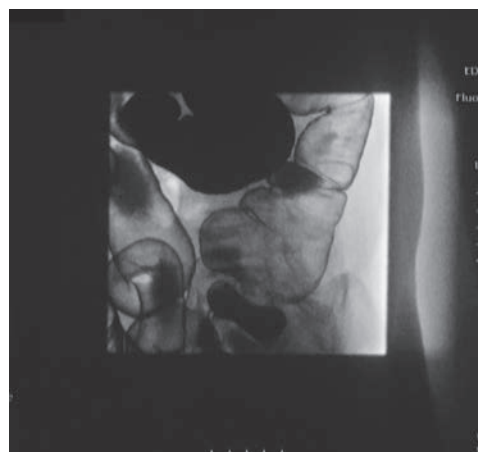


図 53

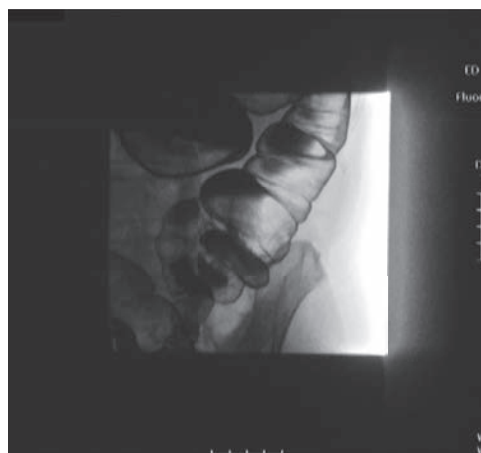


図 54

4 | 上行結腸

腹臥位で盲腸部周辺の圧迫二重造影後に圧迫枕を入れたまま、そのまま腹臥位で上行結腸の撮影に移ります。ここでのポイントは、圧迫枕を少し上行結腸側に移動させて、上行結腸を平坦化させます。この状態で、若干の透視台の起倒と体位角度の微調整にて、横行結腸のバリウムを、上行結腸腹側に流し透視観察を行い撮影します（図55～図58）。

引き続き、背臥位での上行結腸の撮影になります。ここでのポイントは、右側の横行結腸に残っているバリウムの量を調整した後、腹側と同様に、体位角度の微調整と適度な透視台の起倒にて、横行結腸のバリウムを、上行結腸背側に流し透視観察を行い撮影を実施します（図59～図62）。

5 | バリウムの戻しと全体像

深部結腸に残ったバリウムを肛門側に戻し（流し）、付着効果を更に高め、肝彎曲・横行結腸・脾彎曲の背臥位、そして最後に同様に腹臥位も撮影をして終了になります。

この症例では、主に横行結腸に残ったバリウムを肛門側に戻す一連を提示します（図63～図85）。

6 | 撮影画像

撮影画像を提示します（図86～図108）。

透視画像～上行結腸（腹臥位）～（図55～図58）

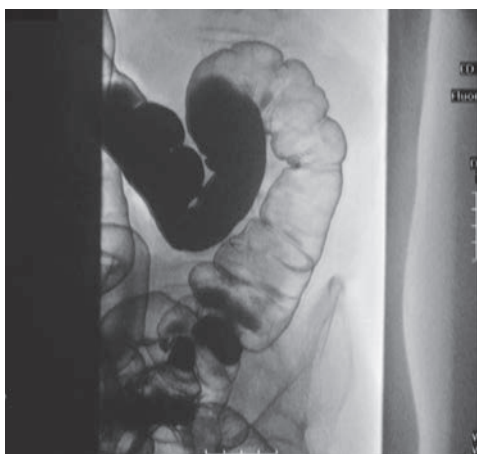


図 55



図 56

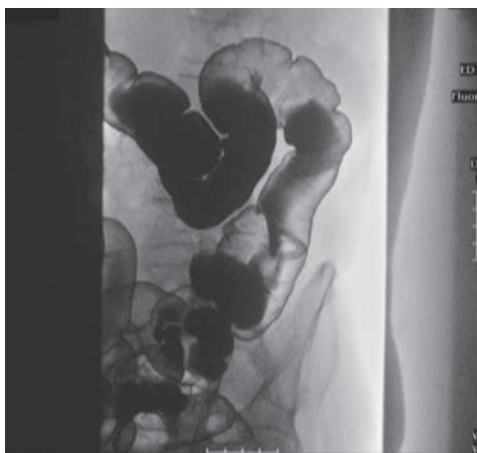


図 57



図 58

透視画像～上行結腸（背臥位）～（図59～図62）



図59



図60

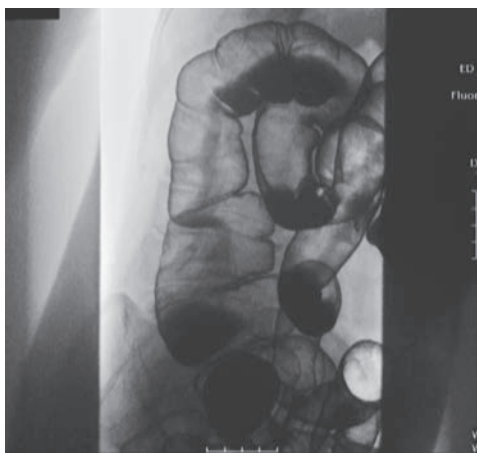


図61

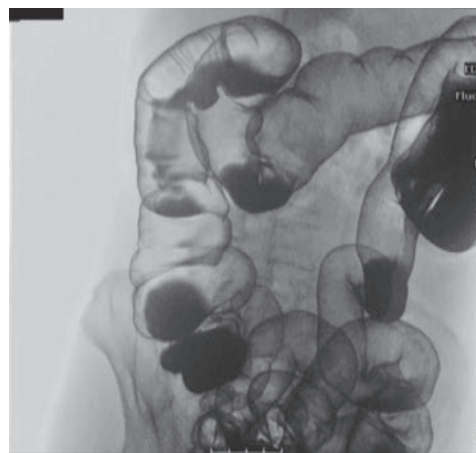


図62

透視画像～バリウムの戻し～（図63～図85）



図63

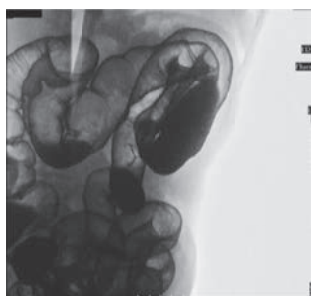


図64

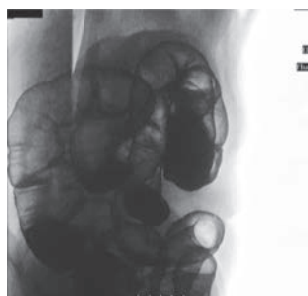


図65

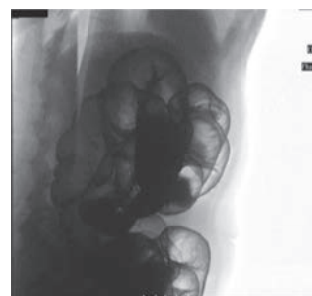


図66



図67



図68



図69



図70



図 71



図 72



図 73



図 74



図 75



図 76

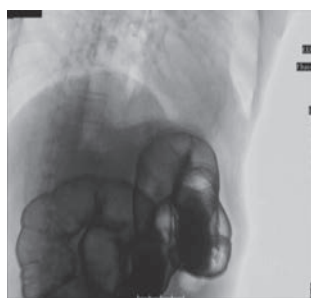


図 77



図 78



図 79



図 80



図 81



図 82



図 83



図 84



図 85

撮影画像 (図86～図108)

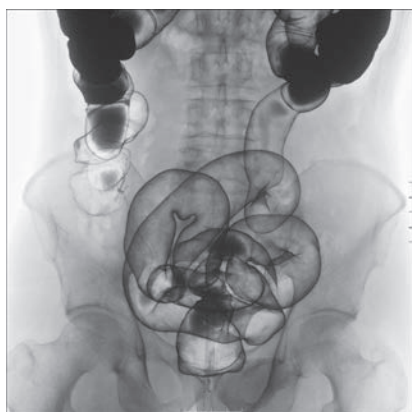


図86

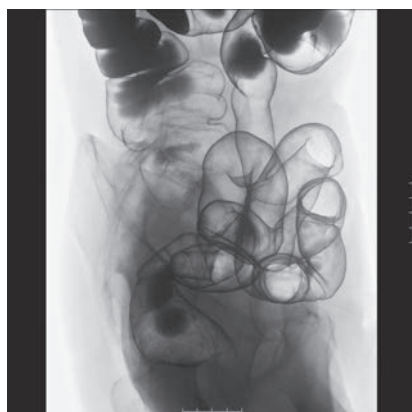


図87

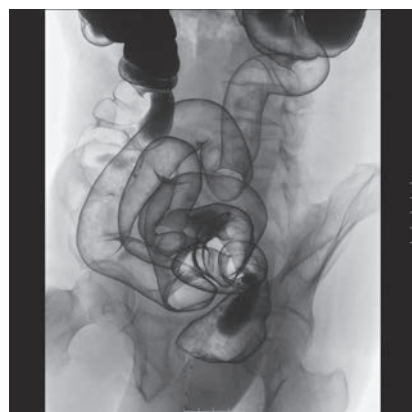


図88



図89

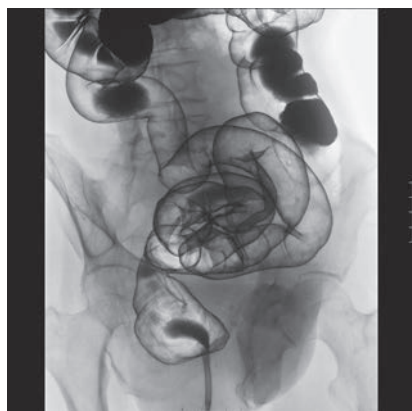


図90



図91

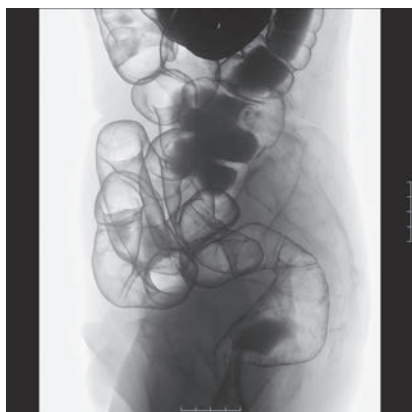


図92

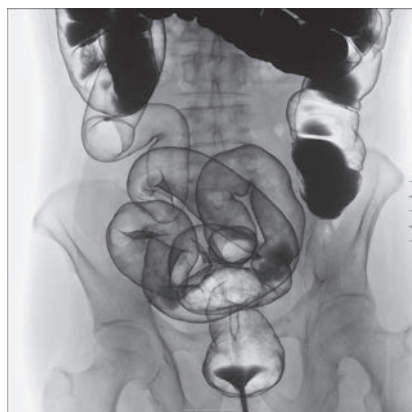


図93

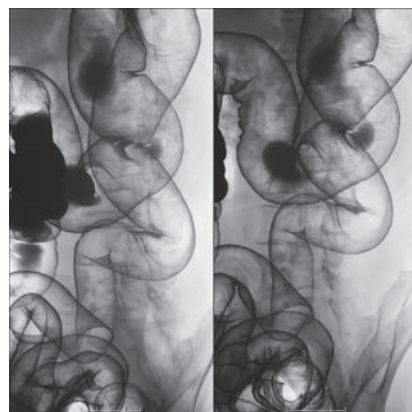


図94

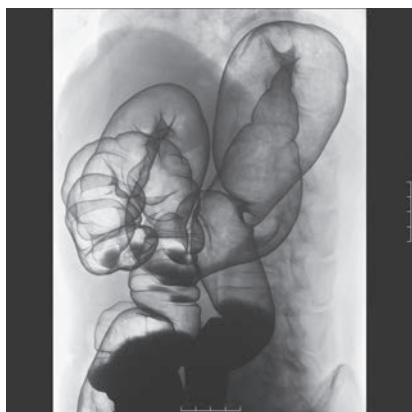


図95

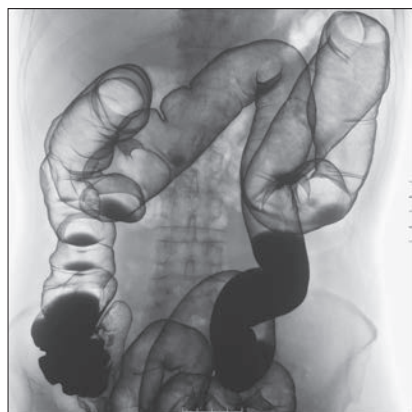


図96

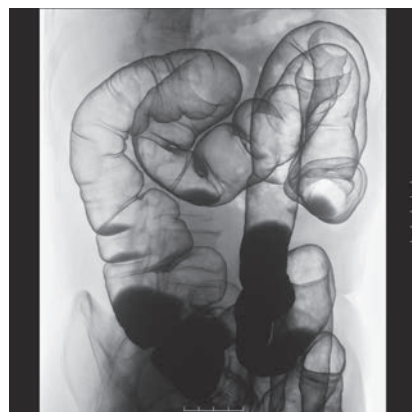


図97

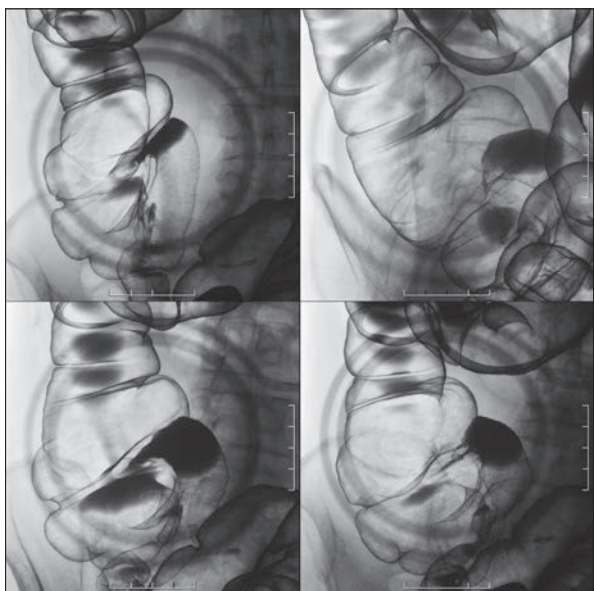


図 98

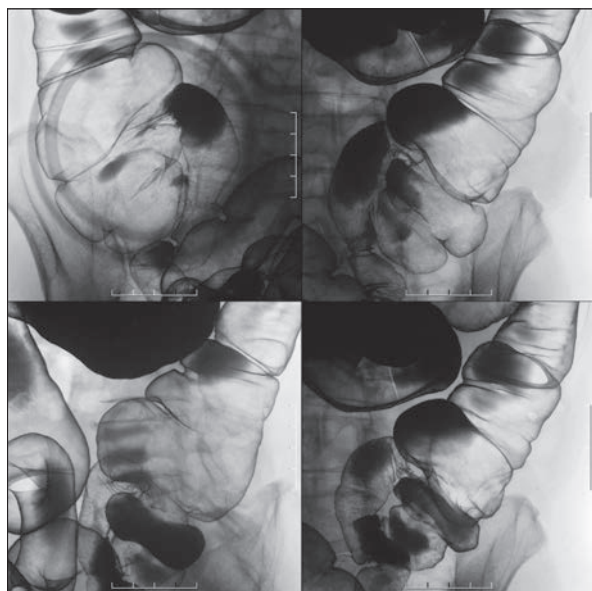


図 99

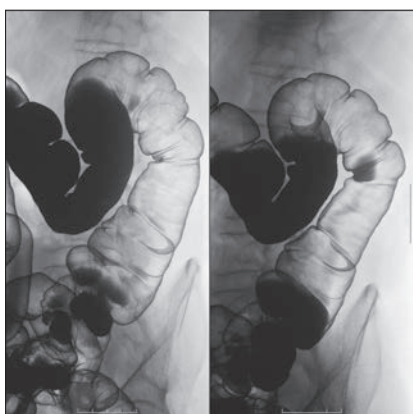


図 100

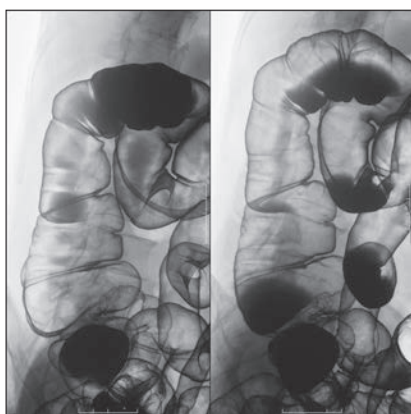


図 101



図 102



図 103

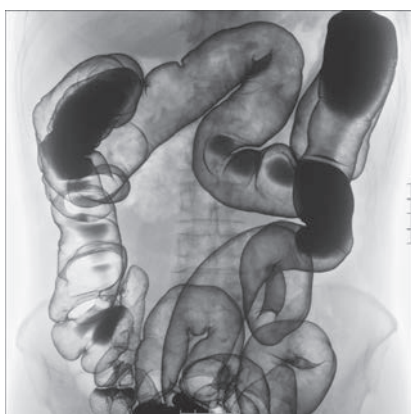


図 104

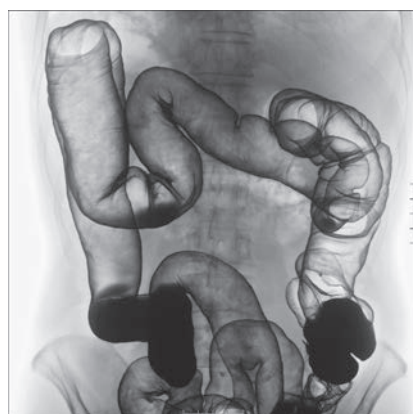


図 105

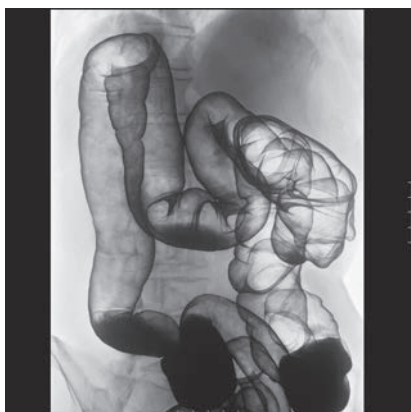


図 106

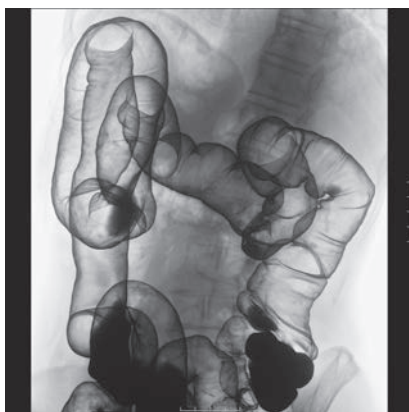


図 107

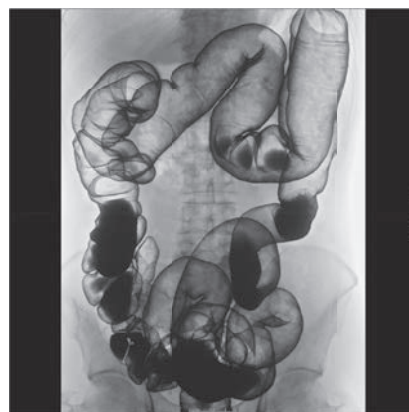


図 108

7 | おわりに

この症例は、S状結腸がやや複雑な走行で内視鏡が入らず、その代替え検査として、内視鏡検査後の当日に行われた、注腸X線検査です。検査技

術をしっかり習得して、精度の高い注腸X線検査であれば、内視鏡検査が困難な複雑な走行の大腸でも、臨床的に有用な検査となります。次回は、注腸X線検査の画像評価について述べさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

FUJIFILM
Value from Innovation

新たな一歩を、
ともに



富士フイルムヘルスケア 始動

2021年3月31日の富士フイルム株式会社への事業譲渡により、
日立製作所の画像診断関連事業は、
「富士フイルムヘルスケア株式会社」として
新たにスタートいたしました。
長年お客様と共に培ってきた技術と
富士フイルムグループ各社との連携により
幅広いラインナップの製品、ソリューション、メンテナンスを提供します。

大胆な発想と果敢な挑戦により、
医療の進化に貢献します。

富士フイルムヘルスケア株式会社

「第135回日暮里塾ワンコインセミナー（新入会促進セミナー）」を受講して

日本大学医学部附属板橋病院 高野 峻

本年度のフレッシュャーズセミナーも新型コロナウイルス感染対策のためにWebでの開催となりました。

初めに新社会人、医療人としてのエチケット・マナー、医療コミュニケーションの講義が行われました。エチケットとマナーの気遣いの違いや病院における医療を提供する業はサービス業に分類されることなどを学びました。また、医療コミュニケーションの重要性、コミュニケーションを学ぶ利点を聴講させていただき、患者満足度、医療に対する意識改革、患者情報を引き出すことを心掛けることで、医療事故を未然に防ぐことができ職場内の人間関係をより良い物にすることができると拝聴させていただきコミュニケーションはとても重要なことだと再認識し、今後の仕事に繋げ信頼関係を築いていきたいと思っています。

医療安全対策・感染対策講座では、医療安全が注目される契機となった医療事故を取り上げ、医療事故の多くはヒューマンエラーが起因しているということを学びました。このヒューマンエラーを防ぐためには、コミュニケーション力・スキル向上・医療従事者個人の成長が重要であることを学びました。感染対策講座では、手洗い・手指衛生の手順とタイミング、個人防護具の着用・着脱の重要性を改めて学びました。

医療被ばく低減講座では、放射線を取り扱う者として放射線が人体にどのような影響を及ぼすのかを実際の事例を交えて医療被ばくについて説明していただき、入射表面線量測定法及び算定法を説明していただきました。このことから被ばくが与える影響を自分自身で正しく理解し、分かりやすく簡潔に説明できるように医療被ばく低減に努めていきたいと思っています。

午後の講義では、胸部X線写真、気管支解剖、CT装置・検査の基礎、MRI装置・検査の基礎など各部門の基礎的な講義が行われました。胸部X線写真では、解剖から撮影ポイントを画像付きで分かりやすく解説していただき理解を深めることができました。気管支解剖では、体を使いながら覚えることができました。CT、MRIでは装置の構造から造影剤による副作用、画像についてなどを改めて学ぶことができました。

今回のフレッシュャーズセミナーを受講させていただき、新社会人として必要不可欠なエチケットやマナー、コミュニケーションの大切さ、診療放射線技師としての被ばく低減や撮影装置、画像解剖などの専門知識を分かりやすく学ぶことができました。本講義で学んだことを生かしながら自分自身を成長させていき、今後の業務に繋げていきたいと思っています。

日本診療放射線技師連盟

2022 No. 6 ニュース

(通巻No.75)

発行日 令和4年6月15日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 5月26日(木) 畦元将吾活動報告会開催
- ② 5月28日(土) 畦元将吾活動報告会開催
- ③ 5月30日(月) 小川かつみ君の飛躍を期する会に出席
- ④ 5月31日(火) 日本看護連盟と面談(参議院選挙に向けて)
- ⑤ 5月31日(火) 日本理学療法士連盟と面談(参議院選挙に向けて)
- ⑥ 5月31日(火) 宏池会所属の参議院議員6名に当連盟として推薦状を渡す
- ⑦ 6月1日(水) 茂木敏充 政経フォーラムに出席
- ⑧ 6月2日(木) 畦元将吾活動報告会開催
- ⑨ 6月7日(火) 経済財政運営と改革の基本方針2022 閣議決定
「医療用等ラジオアイソトープ製造、利用推進アクションプラン」が盛り込まれる
- ⑩ 6月10日(金) 星 北斗・自見はなこ 総決起大会に出席
- ⑪ 6月12日(日) 岸田文雄内閣総理大臣を祝う会に出席
- ⑫ 6月14日(火) 第2回ラジエーション議連 開催
- ⑬ 6月14日(火) 畦元将吾活動報告会開催
- ⑭ 6月15日(水) 畦元将吾活動報告会開催



本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟

事務局からのお願い

News

9月号

日 時：2022年6月2日（木）
午後7時00分～7時50分

場 所：インターネット回線上

出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、宮谷勝巳、
渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、原子 満、
鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一

出席監事：野田扇三郎、葛西一隆

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地
区委員長）、布川嘉信（第3地区委員長）、丸山
大樹（第4地区委員）、中田健太（第5地区委
員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一
（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、
石原優平（第10地区委員）、名古安伸（第11地
区委員長）、宇津野俊充（庶務委員長）、和久
井菜奈（総務委員）、小野賢太（総務委員）、
村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、
新川翔太（総務委員）

欠席理事：竹安直行

欠席監事：なし

議 長：篠原健一（会長）

司 会：白木 尚（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

第3回理事会にご参集いただき感謝する。代議員の皆
さまは承知していると思うが、JARTの総会が控えて
いる。TARTの総会は今回も残念ながら代議員による
書面表決という形になったが準備も問題なく進んでい
る。今回、私にとって現役最後の東京都診療放射線技師
会理事会になるので11年間のご協力を感謝する。本日
もよろしく願います。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 篠原 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木 副会長

・活動報告書に追加なし。

麻生 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他報告

野口幸作 庶務委員長：

JART告示研修の報告で5月21日～22日に開催され
た。21日に47名、22日に46名の参加で無事終了した。

議 事

1) 事業申請について

①第138回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催

テーマ：その時どうする？ アナフィラキシーの対応

日 時：2022年8月2日（火）19:00～19:45

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②第20回サマーセミナー Web開催

テーマ：ちょっと教えて！ 乳房撮影検査

日 時：2022年8月27日(土) 16:00～17:50

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

③第139回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催

テーマ：最新CT装置に搭載された画質向上の技術と被ばく低減への取り組み

日 時：2022年9月2日(金) 19:00～19:45

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

④2022年度 城東支部研修会 Web開催

テーマ：診療放射線技師の転職活動について

日 時：2022年9月30日(金) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) 新入退会について

5月：新入会43名、転入3名、転出1名、退会1名

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

・特になし。

連絡事項

浅沼雅康 編集委員長：

次号の会誌は7・8月合併号となる。今回の理事会で申請した事業に関しては、既に原稿をいただいている。その他に開始掲載が必要な場合は、本日中にご連絡をいただきたい。必要に応じて、会長の判断で会誌に掲載することも可能である。明日以降の場合は9月号の掲載となるのでご理解いただきたい。

野口幸作 庶務委員長：

次回の告示研修は7月30日、31日に国立がん研究センター中央病院で行われる。申し込み開始日は未定である。

増田祥代 第1地区委員長：

城東支部研修会で講演していただく藤野氏から、東京都診療放射線技師会のホームページに株式会社エス・エム・エスのリンクを掲載できないかとの依頼があったが、可能か。

→白木 尚 副会長：

まず専門部、五役会で審議を行う。

野口幸作 庶務委員長：

6月11日に行われる第84回日本診療放射線技師会定時総会に関して、昨日東京都の代議員10名に参集していただき質問事項等の審議を行った。これを基に、定時総会で質疑を行う予定である。

白木 尚 副会長：

以前の理事会において、第3地区からいただいた地区会員のメールアドレス使用に関する質問について進捗状況を報告する。現在、事務局の引地氏より、日本診療放射線技師会の会員情報から、会員のメールアドレスを東京都診療放射線技師会のデータベースに移植していただいております。概ね全ての会員について完了している。定款諸規程検討委員会において規約改定を行っており、今後理事会に議題を提出し、審議を行う予定である。

今後の予定について（総務委員会）

今後の予定として、6月11日に第84回日本診療放射線技師会定時総会、6月18日に第73回東京都診療放射線技師会総会、6月25日、26日に群馬県で関東甲信越診療放射線技師学術大会が行われる。役員研修会において、各専門部からの申請および提出書類の雛形を頂戴している。これは、例えば編集委員会では会誌に掲載する原稿や、総務委員会では研修センター使用願いや事業申請書といったものである。議事録配信時、あるいはより早い段階で送付を行う。今後は送付した雛形を用いて提出していただきたい。

なお、送付したファイルの拡張子が古い場合があるので、最新のファイル形式で送付していただけると幸いです。

以上

News

9月号

日 時：2022年6月18日（土）
午後4時15分～4時30分
場 所：東京都診療放射線技師会事務所および
インターネット回線上での同時開催
出席理事：麻生智彦、野口幸作、鈴木雄一、関 真一、
浅沼雅康、長谷川雅一、竹安直行、市川篤志、
鮎川幸司、原子 満、関谷 薫、布川嘉信、
増田祥代、江田哲男、高野修彰、宇津野俊充、
小林隆幸、渡辺靖志
出席監事：野田扇三郎、白木 尚
欠席理事：なし
指名出席者：篠原健一（前会長）、上田万珠代（第4地区委
員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、名古屋安伸
（第11地区委員長）、平瀬繁男（前理事）、宮谷
勝巳（前理事・第14地区委員長）、葛西一隆（前
監事）、中澤靖夫（顧問）
議事録作成：鈴木雄一

理事会定数確認

出席：18名、欠席：0名

会長候補挨拶（麻生理事）

本日の総会に於いて、2022・2023年度役員改選が行われ、立候補役員全員（理事18名、監事2名）の当選が確定（議決）された。これより本年度の第4回の理事会を開催する。

議 事

1) 会長職に関して

総会にて会長候補への信任投票の結果を踏まえ、麻生自身が会長へ立候補したい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

出席理事全員の賛同を得て、麻生理事を会長（代表理事）とすることとした。

2) 副会長、業務執行理事について

①副会長は麻生会長が指名

野口 幸作 理事、関 真一 理事

②業務執行理事について

総 務 鈴木 雄一 理事

庶 務 宇津野俊充 理事

経 理 関 真一 理事（副会長兼任）

上記の副会長および業務執行理事の任命について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

3) 顧問について

麻生会長より、篠原健一前会長の公益社団法人東京都診療放射線技師会顧問就任に関する議案が提出され、審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

連絡事項

1) 野口 副会長：

庶務委員会より就任承諾書の作成依頼が後ほどある。

署名、捺印が必要となる。シャチハタ（スタンプ印）は不可となるためご注意願いたい。

以上

News

9月号

会長挨拶

私が会長に就任してから今回が初の理事会となる。所信表明に関しては会誌やホームページに掲載した通りである。従来の良き点は踏襲しつつ、新たな方策や取り組みを積極的に行っていきたい。総会でも述べたが、会費に関しては棚卸しをして、心して取り組んでまいりたい。また、コロナウイルスの感染状況にもよるが、各委員長や理事は可能な限り現地で参加していただきたい。また、各地区における研修会などがあれば、現地に赴き参加したいと考えており一報をお願いする。今後とも皆さまのご協力とご支援をお願いしたい。

関 副会長挨拶

前回の理事会で副会長に指名いただきました。地区委員長や経理委員長の経験を活かし、円滑な会務の運営を目指してまいります。地区会員の意見を聞きながら、麻生会長の運営方針に沿って、現在の社会情勢や令和時代のニーズに合わせた方策と改善を念頭に新たな構築の実現を目指したい。皆さまのご協力とご支援をお願いしたい。

野口 副会長挨拶

中澤元会長、篠原前会長に育ててもらった、身近で指導いただいたと思っているので、その教えを基に、麻生会長を全面的に支える。それで、技師会、診療放射線技師全体を盛り上げていきたい、そのために汗を

日 時：2022年7月7日（木）
午後7時00分～8時00分

場 所：インターネット回線上

出席理事：麻生智彦、関 真一、野口幸作、鈴木雄一、宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、市川篤志、小林隆幸、増田祥代、渡辺靖志、原子 満、鮭川幸司、関谷 薫、長谷川雅一、布川嘉信

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、丸山大樹（第4地区委員）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、吉村良（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、和久井菜奈（総務委員）、小野賢太（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：江田哲男

欠席監事：なし

議 長：麻生智彦（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

流していきたいと考えている。皆さまのご協力をお願いしたい。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：1名

前回議事録確認

第3回理事会議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 篠原 前会長

・活動報告書に追加なし。

麻生 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木 前副会長

・活動報告書に追加なし。

関 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他報告

野口幸作 副会長：

6月29日に今後の告示研修の方向性を決めるため、東京ファシリテータ会議を開催した。

議 事

1) 事業申請について

①2022年度 第1回 第13地区研修会

テーマ：診療放射線技師が関わるタスク・シフト/シェア
診療放射線技師業務拡大のポイントとこれからの対応／診療放射線技師が関わる超音波検査

日 時：2022年10月12日（水）19：00～20：30

場 所：Web開催

野口幸作 副会長：

講師の藤村氏の役職が告示研修実施運営委員会となっているが、所属施設内の役職としたほうがよいのではないか。

鮎川幸司 第13地区委員長：

藤村氏は日本診療放射線技師会の役員ではなく、実際の臨床現場を知るアドバイザーのような立ち位置である。役職名に関して要望は受けていないので、支障が出るのであれば変更してよい。

麻生智彦 会長：

施設内の役職にすべきである。

鈴木雄一 総務委員長：

それでは藤村氏の役職は診療放射線技師に修正する。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

②2022年度 第1回 第4地区研修会

テーマ：若手技師間の交流会：若手技師の施設間での業務に関する話題等で交流を促進と、関心事項の「告示研修」について情報提供講演

日 時：2022年10月5日（水）18：30～20：00

場 所：Web開催

小林隆幸 教育委員長：

コロナ禍の影響で、地区内での施設間交流が困難な

状況が続いている。各施設の新人の方々との交流ができないため、Webを利用した研修会を企画した。今回は第4地区のみに限定し、広報をさせていただきたい。内容は、各施設の若手技師の紹介及び自施設の紹介、野口副会長より告示研修に関するご講演をしていただく予定である。ご承認をお願いしたい。

麻生智彦 会長：

第4地区に限定するという初めての試みだが、非常に良い試みと私は考えている。地域の活性化と入会の促進につながるということで、他の地区でもぜひ検討していただきたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

2) 超音波スクリーニング研修講演会2022 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

例年と同様に、超音波スクリーニングネットワークより後援申請をいただいた。ご承認をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

3) 第23回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in東京 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

主催は一般社団法人医療のTQM (Total Quality Management) 推進協議会で、今回初めて声がけをいただいた。後援名義申請の審議をお願いしたい。

麻生智彦 会長：

今後厚生労働省においても、TQM活動を指標にするということを打ち出している。ぜひご承認をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

4) 第45回練馬まつりについて

長谷川雅一 広報委員長：

本年度の練馬まつり出展の募集が郵送された。以前は「としまえん」で行っていたが、閉園に伴い健康まつりは今後開催しないという連絡が来ており、本年度の事業計画に記載をしていない。事業計画にない事業を申請することが可能か、ご確認をお願いしたい。

麻生智彦 会長：

公益事業の一環として、当会の事業には含まれている。当会の中の広報委員会が担うというだけであり、事業計画になくとも事業申請し参加するのは問題ないのではないかと。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

5) 新入退会について

6月：新入会39名、転入1名、転出4名、退会3名
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第13地区：

地区委員会報告内容の中の告示研修(実技)に関して、会員よりの質問・意見がありました。適切なご回答をお願いします。

1. 東京での実技研修の申し込みは掲示後1~2日で定員に達してしまうようですが、統一講習会の受講済み者が優遇されているため、未受講者は何年も待たないと実技研修を受けられないという状況を是正してほしい。
2. 東京では年間あたり最大576名(48名×2日×6回)が受講可能ですが、東京都の診療放射線技師人数約6,000人が受講しようとする、単純計算で10年かかります。技師数の少ない地域との格差が生まれてしまいますが、今後のビジョンはありますか？
3. 今後、告示研修は統一講習会の受講が前提であり、今後、統一講習会を復活させるとの件で、国内でみると現在の統一講習会を修了せずに告示研修を修了している者がいるかと思われます。その格差はおかしいのでは？

以上3点について、回答をお願い致します。

～以下、鮎川個人意見です～

私個人としては、早急に統一講習会の開催を望みます。抜針ありきでの告示研修である以上、統一講習修了→告示研修受講の流れが当然だと思いますし、その過程を飛ばして告示研修を受講できてしまうのはおかしいと思います(これはJARTの問題だとは思いますが…)。

ちなみに、当院の技師は統一講習受講の為、やっと開催される愛知へ行きます。やはり需要はあると思います。南関東地域での早急の開催を希望します。

→野口幸作 副会長(JART教育委員として)：

1. については、統一講習会に付加価値を付ける必要があると思われる。逆に何もないと、高い受講料を払って統一講習会を受けたのに…となると思われる。何らかの優遇は必要として、申し込み開始を1週間前倒しで対応しているのでご理解いただきたい。

2. については、東京の診療放射線技師数は、JART資料では約6,000人弱である。別に、自分の県の技師

を自分の県だけで賄え(受講させる)とはしていない。地域、周辺県も含めて対応すればよいと思われる。南関東地域は連携が取れている。

3. については、47都道府県のなかでは定員定数を満たないところもあるので、仕方がないところもある。しかし、技師会としての方向性としては、統一講習会を受講してから告示研修を受けていただきたい。

→麻生智彦 会長：

JARTではファシリテータを増やししながら研修会の回数を増やすように動いている。TARTとしても統一講習会開催を進めていきたいと思うのでご理解いただきたい。

連絡事項

宇津野俊充 庶務委員長：

役員名簿の協力感謝する。今月中に委嘱状を郵送するので宜しくをお願いしたい。修正などがあれば連絡をお願いしたい。

浅沼雅康 編集委員長：

会誌の東放見聞録担当を今期の役員期間内で、地区委員会と一部専門部委員会で協力をお願いした。質問などがあれば編集委員会まで連絡をお願いしたい。また、役員改選年度においては新委員長もしくは全委員長に紹介記事を書いてもらい、自己紹介を含めて執行体制を会員の皆さまにお知らせする記事を会誌に掲載している。継続の委員長もいるが新体制として全委員長に執筆をお願いしたい。10月、11月号に掲載予定なので協力をお願いしたい。

野口幸作 副会長：

配布資料の中に個人情報保護規程案があるので確認してもらい、ご意見などがあれば連絡をお願いしたい。9月の理事会で審議いただきたいと思う。

7月に統一講習会開催を準備したが感染状況の都合で開催が見送られている。2月ぐらいに開催を準備しているので詳細が決まり次第連絡する。

今後の予定について(総務委員会)

今後の予定として、7月14日に第137回日暮里塾ワンコインセミナー、7月30日、31日に告示研修、8月2日に第138回日暮里塾ワンコインセミナー、8月27日に第20回サマーセミナーが開催される。8月は理事会が開催されないので9月理事会で事業申請していただけるように注意してほしい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2022年度

1. 学術研修会		
第23回メディカルマネジメント研修会		未定
☆第20回ウインターセミナー		2023年1月
2. 生涯教育		
第71回きめこまかな生涯教育		2023年3月
☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー		
第139回日暮里塾ワンコインセミナー	Web開催	2022年9月2日(金)
☆4. 第22回東放技・東京部会合同学術講演会		2022年11月
5. 集中講習会		
第13回MRI集中講習会		未定
☆6. 支部研修会		
城東支部研修会	Web開催	2022年9月30日(金)
城西・城南・城北・多摩支部研修会		未定
7. 地区研修会		
第4地区研修会(交流会)	Web開催	2022年10月5日(水)
第13地区研修会	Web開催	2022年10月12日(水)
8. 特別委員会研修会		
SR推進委員会研修会		未定
9. 地球環境保全活動		
荒川河川敷清掃活動		未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Canon



Introducing our new approach to AI in healthcare

AIテクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出——。その世界の起点を私たちは変わることなく、尊い「いのち」への貢献であると考えています。

一人ひとりの患者さんのペーシェント・ジャーニー。さまざまなシーンで、よりパーソナライズされた高精度な診断を支えるのは、高精度データです。

高精細検出器をはじめとする独自技術を、機械学習・深層学習の技術と融合させる。私たちのアプローチから生まれたソリューションはすでに、診断の「質」の向上、CTにおける被ばく量の低減など、新たな医療の世界をかたちづくっています。

<Altivity>は、キヤノンメディカルシステムズのAIソリューション・ブランドです。

Z000023-08

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせてお仕事をご紹介致します。医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

- ☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。
- ☆ ご登録・ご相談は無料です。
- ☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。
- ☆ 受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX: 03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: <https://www.jmb88.co.jp>

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	令和 年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付 令和 年 月 日
確 認 令和 年 月 日 印

Postscript

親が亡くなり、その手続きに奔走しました。まずは市役所の住民課。死亡届けの提出、健康保険証の返還、介護保険の手続き。窓口一つで終わらず数カ所の窓口を回りました。

そして銀行手続き。この時に亡くなった方の生まれてから死亡するまでの全ての戸籍を求められます。これは離婚等で現家族以外に相続対象者がいないことを確認するために必要なのだそうです。戸籍を取っては廻りを繰り返し、ようやく出生時にたどり着きました。戸籍はそれぞれの市町村で取る必要があります、遠方になると直接取れないため、郵送での依頼になります。転勤や婚姻で戸籍を変更しているとその分廻りが大変です。これまでに戸籍法の改正が何度かあったため、それにより戸籍が分かれてしまいその分も取得する必要がありました。戸籍はなるべく動かさない方が良くつくづく感じました。

そしてこれらの手続きを行うときに提示求められるものに「遺産分割協議書」があります。これを予め作成しておく、手続きがスムーズになりました。

ただ、これらの書類が揃っていても窓口での手続きは1~2時間。それで手続きが終わり振り込んでくれるところもありましたが、組織が大きいところは、本

部で書類確認の上改めて連絡しますというところもあり、とにかく時間がかかりました。

次に土地の名義変更に法務局へ行きました。コロナの影響で対面での説明は行わず、手引きを一冊手渡され、これを見て手続きしてくださいと。感染のリスクがあるとはいえ不親切だなあと感じました。法務局のホームページから書類と凡例をダウンロードし書類を作成。市役所で固定資産税評価額を教えてもらい登記免許税額を算出し印紙を貼って、なんとか提出できました。

年金手続きも一筋縄ではいかず、書類が分かりにくい上に三親等以内ではない第三者の証明が必要だったりもっと簡素化できないのかと感じました。

これらの作業は、行政書士さんをお願いすれば全部やってもらえるのですが、手数料がどのくらいかかるのか、どこに頼んだらいいのかよく分からなかったもので、とりあえずネットで調べながら自分でやってみました。少し時間と手間はかかりましたが、なんとか自分でできました。書類等は本当に分かりにくかったのですが…。さあて後は相続税の申告、できるかなあ？ (すえぞう)

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
富士フイルムヘルスケア(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)

東京放射線 第69巻 第8号

令和4年8月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和4年9月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 麻生 智彦

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜~金曜 9時30分~17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日~1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一